

【各試合の結果・詳細】

第1試合

立命館大学ホリーズ 6 $\begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 3 - 1 \end{pmatrix}$ 1 ALDER飯能

勝点 22
7 勝 1 分 1 敗

勝点 18
6 勝 0 分 3 敗

<得点>

立命館大学：11分伊藤、32分藤吉、35分村上、37分藤吉、70分藤吉、73分堀江

ALDER飯能：7分竹下

<戦評>

ALDER飯能のセンターパスにより試合が開始。
序盤は両チーム共に一進一退の攻防が続く。試合が動いたのは11分、立命館大学がPCを取る。これを#5伊藤が左上へフリックシュートを決め先取点を挙げる。続く32分、サークル内での#8堀江のパスを#2藤吉がタッチシュートし追加点をあげる。前半終了間際の35分にも、立命はPCから得点、そのまま前半戦が終わり3-0で折り返す。
立命館大学ホリーズのセンターパスにより後半戦が始まる。
両チームともにカウンターによる攻めが目立つ。36分、#8堀江が左サイドからセンタリング、そのボールを受けた#28田中がゴール前へパス、#2藤吉がタッチシュートし4点目をあげる。対する飯能は42分にPCを取得、#7竹下がリバウンドを決める。試合終了が近づいても立命による攻撃の手は緩まない。60分、#8堀江がゴール前へブッシュパス、飯能のDFが触るものの#2藤吉がそのこぼれ球をとり、サークル内右奥からヒットシュートを決める。この日#2藤吉は3得点をあげ、ハットトリックを達成した。続く64分にも立命はPCを取得、#8堀江がリバウンドを決める。そのまま試合は終了し、6-1で立命館が勝利した。

テクニカルオフィサー	松下 正寿	アンパイア	近藤 聡史
ジャッジ	西松 孝治		高橋 英行

第2試合

岐阜朝日クラブ 6 $\begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 3 - 0 \end{pmatrix}$ 0 東京農業大学

勝点 19
6 勝 1 分 2 敗

勝点 6
2 勝 0 分 7 敗

<得点>

岐阜朝日クラブ：11分辻、22分高嶋、26分森、43分横山、44分伊藤、57分森

東京農業大学

<戦評>

東京農業大学のセンターパスにより試合が開始。
序盤から互いに激しくボールを奪い合う。最初にチャンスを得たのは岐阜。前半11分に岐阜#20小池のシュートを#14辻がタッチし、得点をあげる。そこからは岐阜が優位な展開で試合が続く。22分、岐阜のPCから#9高島のタッチシュートによって追加点をあげる。続く26分、岐阜のPCから#27森がフリックシュートを決め、3-0で前半が終了する。
岐阜朝日クラブのセンターパスから後半が始まる。
後半に入っても岐阜の攻勢は続き、東農陣内での攻防が多く見られた。迎えた43分、#11安田がカウンターから右サイドへパス、それを受けた#19横山がキーパーをかわしシュートを決める。勢いをつけた岐阜は44分にも#10伊藤のフィールドゴールによって追加点をあげた。対する東農は52分にサークル内でチャンスを得るも決めきれない。そして57分、#27森がサークル内右からドリブルで切り込み、ブッシュシュートによって得点をあげる。そのまま試合が終了し、6-0で岐阜朝日クラブが勝利した。

テクニカルオフィサー	西松 孝治	アンパイア	竹内 高広
ジャッジ	一谷 徹		元宗 宏寿

第3試合

名古屋フラーテルホッケーチーム 3 $\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$ 0 Selrio島根

勝点 27
9 勝 0 分 0 敗

勝点 8
2 勝 2 分 5 敗

<得点>

名古屋フラーテル：2分坪内、22分橘、65分河内

Selrio島根：

<戦評>

名古屋フラーテルのセンターパスにより試合が開始。
2分、#13山下からのパスを#12坪内が決め、開始早々に先制点をあげる。フラーテルの猛攻が目立つもなかなか点には結びつかない。Selrio島根も隙を見て攻めあがるもののフラーテルの堅い守りを突破することができない。15分、島根はPCを得るがフラーテル守備陣に阻まれ得点をあげることができない。そして迎えた22分、#8塩川によるサークルトップからのヒットパスを#17橘がリバースで合わせ追加点をあげる。2-0でフラーテルがリードしたまま前半が終了する。島根のセンターパスにより後半戦が開始される。
両チーム共にチャンスはあるものの、なかなか決定機を作る事ができない。後半に入り島根陣内でゲームが展開される場面が目立つ。フラーテルは終始攻勢に出るが、なかなかチャンスをもにすることができない。50分、フラーテルは強烈なリバースシュートを放つもキーパーのファインセーブに阻まれる。続く54分、フラーテルはPCを得るもののこれも止められる。65分、#6河内がサークルトップ右からヒットシュートを決め、得点をあげる。そのまま試合は終了。3-0で名古屋フラーテルが勝利した。

テクニカルオフィサー	松下 正寿	アンパイア	戸塚 洋介
ジャッジ	一谷 徹		小原 直也

【各試合の結果・詳細】

第1試合

山梨学院OCTOBER EAGLES 1 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 3 \end{pmatrix}$ 3 福井クラブ

勝点 10
3 勝 1 分 5 敗

勝点 14
4 勝 2 分 3 敗

<得点>

山梨学院 : 30分村田
福井クラブ : 40分斎藤、45分為国、48分為国

<戦評>

立ち上がりは、山梨学院OCTOBEREAGLESがゲームを支配する展開で始まった。しかし、福井クラブのDFも堅く、得点に結びつかない。両チームとも激しいボールの奪い合いが続き、一進一退のゲーム展開となる。福井クラブはPCを取るが得点できず、山梨学院も福井陣内に攻め込むが得点できない。試合が動いたのは30分、GKが弾いたところを山梨学院MF#7村田がリバウンドシュートし、先制点を挙げる。後半は福井クラブが主導権を握る。40分、CFへの鋭いセンターリングから、福井クラブFW#1斎藤が強烈なヒットシュートを放ち、同点となる。試合を決定づけたのは福井クラブDF#2為国。45分、48分と立て続けにPCでシュートを決めた。一方、山梨学院は3回のPCのチャンスを生かせず、3-1で福井クラブが勝利した。

テクニカルオフィサー	中村 康夫	アンパイア	細川祐司
ジャッジ	松原 和朗		木下英貴

第2試合

天理大学ベアーズ 5 $\begin{pmatrix} 3 & - & 0 \\ 2 & - & 2 \end{pmatrix}$ 2 法政大学

勝点 19
6 勝 1 分 2 敗

勝点 3
1 勝 0 分 8 敗

<得点>

天理大学 : 6分大野、28分大野、34分膳棚、40分清水、68分三谷
法政大学 : 54分中山、70分義浦

<戦評>

法政大学のセンターパスで前半が始まる。序盤からパスゲームで天理大学ベアーズがペースをつかむ。前半4分天理大学がPCを獲得。6分#2大野が先制点を挙げる。その後は中盤で互いにボールを奪うも、なかなかチャンスをつくれず時間が過ぎる。前半28分天理大学がPC獲得。#2大野が豪快なドラックフリックで2点目を挙げる。続く前半34分にも天理大学がPCから3点目を決め、3-0で前半を終える。後半も天理大学のペースで試合が進む。後半5分、#13清水がドリブルで切り込みヒットシュート。4点目を挙げる。一方の法政大学も、後半20分にPSを獲得、1点を返す。その後、両チームが追加点を挙げ、試合を支配し決定期をものにした天理大学が5-2で勝利した。

テクニカルオフィサー	松原 和朗	アンパイア	野澤 達
ジャッジ	国兼 実		宮川 敏充

第3試合

小矢部REDOX 1 $\begin{pmatrix} 1 & - 0 \\ 0 & - 1 \end{pmatrix}$ 1 診療印刷

勝点 9
2 勝 3 分 4 敗

勝点 1
0 勝 1 分 8 敗

<得点>

小矢部R : 16分高橋

診療印刷 : 45分東

<戦評>

小矢部RED OXのセンターパスで試合開始。ややゆっくりとした立上がりであったが、徐々に小矢部Rがボール支配率を上げていく。診療印刷は堅い守備から速攻を仕掛けようとするが、なかなかリズムに乗れない。16分小矢部RはFW#12高橋がサークルトップからリバースヒット。先取点を挙げる。その後診療印刷は何度かチャンスを得るが、正確性に欠け無得点で前半を終えた。後半に入り、追加点を得ようとする小矢部Rに対し、診療印刷はGK#26関沢が好セーブをみせる。勢いを得た診療印刷、45分PCから#11FB東がスweepヒット。これが右下に綺麗に決まり、試合を振り出しに戻した。その後は互いに攻め合うが決定力を欠き、勝ち点1を分け合う結果となった。

テクニカルオフィサー	中村 康夫	アンパイア	西間庭 浩
ジャッジ	国兼 実		児玉 茂樹